

製品名: HSF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12224**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	HSF2
別名	HSF2; HSTF2; Heat shock factor protein 2; HSF 2; Heat shock transcription factor 2; HSTF 2
遺伝子 ID	3298.0
SwissProt ID	Q03933
免疫原	抗血清はヒト HSF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

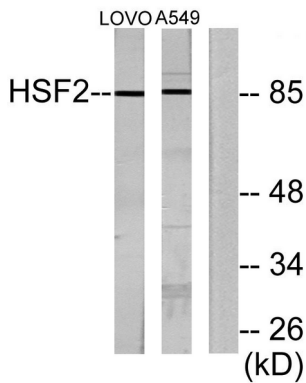
背景

熱ショック転写因子 2 (HSF2) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、熱ショックプロモーターエレメントに特異的に結合し、転写を活性化する転写因子の HSF ファミリーに属する。熱ショック転写因子は、熱やその他のストレス条件下

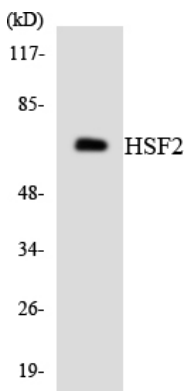
で熱ショック応答遺伝子を活性化する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年7月]機能: 熱ショックプロモーターエレメント (HSE) に特異的に結合し、転写を活性化する DNA 結合タンパク質。高等真核生物では、細胞が熱ショックを受けない限り、HSF は HSE に結合できない。類似性: HSF ファミリーに属する。細胞内局在: 通常の成長中は細胞質内に存在し、活性化されると核内に移動する。サブユニット: ストレスまたは熱ショックを受けた細胞では DNA 結合ホモ三量体、そうでない場合はホモ二量体として存在する。

研究分野

画像データ



HSF2 抗体を用いた LOVO 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSF2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。